



2021年4月28日

東武宇都宮線 南宇都宮駅舎を開業当時の姿にリニューアル！

東武宇都宮線 南宇都宮駅構内に
『日本遺産「大谷石文化」案内板』を設置！

～あわせて、同駅待合室内に「大谷石文化説明パネル」を掲示しました！～

宇都宮市大谷石文化推進協議会
東武鉄道株式会社

宇都宮市大谷石文化推進協議会（事務局：宇都宮市文化課）では、東武宇都宮線南宇都宮駅構内に『日本遺産「大谷石文化」案内板』の設置工事を進めておりましたが、2021年3月26日（金）に完成しました。今回の工事では、「南宇都宮駅周辺 総合案内板」「東武鉄道南宇都宮駅舎 解説板」の2種類を整備しています。これにより、東武鉄道（本社：東京都墨田区）が改修し、2020年11月20日（金）に完成した駅舎とあわせて、南宇都宮駅全体のリニューアルが全て完了しました。

東武鉄道が実施した駅舎リニューアル工事では、宇都宮市や地元の方々などのご協力を得ながら、同駅が開業した1932（昭和7）年頃からの貴重な大谷石の壁面を保存・補修したほか、新たに大谷石の壁面を増設することで、地域の方々により親しまれる駅舎を目指しました。駅舎改修にあわせて設置した『日本遺産「大谷石文化」案内板』の仕上げ材にも大谷石を使用するなど、大谷石文化を活かして賑わいを創出しお客さまをお迎えいたします。

なお、同駅待合室内には「大谷石文化説明パネル」を宇都宮市大谷石文化推進協議会と東武鉄道の共同で掲示し、観光で訪れたお客さまにも大谷石の文化や歴史をお楽しみいただけます。

今後も、宇都宮市・東武鉄道では連携しながら、駅の快適性向上・大谷石文化の発展を図ってまいります。



△駅舎リニューアル完成時の南宇都宮駅 外観



△『日本遺産「大谷石文化」案内板』

南宇都宮駅『日本遺産「大谷石文化」案内板』の概要について

- (1) 完 成 日 2021年3月26日(金)
- (2) 所 在 地 栃木県宇都宮市吉野2-8-23



△南宇都宮駅周辺 総合案内板



△東武鉄道南宇都宮駅舎 解説板



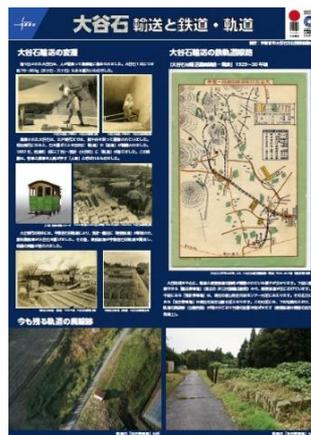
△南宇都宮駅 位置図(東武鉄道 路線図)

南宇都宮駅 駅舎リニューアル工事の概要について

- (1) 完 成 日 2020年11月20日(金)
- (2) 所 在 地 栃木県宇都宮市吉野2-8-23
- (3) 建 築 面 積 128.81㎡
※お客さま用トイレ 35.40㎡
- (4) 構 造 規 模 他 木造平屋建て(駅事務室他)
- (5) 設 計 会 社 株式会社オー・エヌ・オー大野設計
- (6) 施 工 会 社 東武建設株式会社
- (7) 駅 開 業 日 1932(昭和7)年4月17日



△「大谷石文化説明パネル」を掲示した同駅待合室



△同駅待合室内に掲示した「大谷石文化説明パネル」(計4枚)

以上